児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年10月31日

事業所名: マルクスコラ山越教室

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

| 区分 | | | | 事業所の現状評価 | | | | | | 保 | 護者の方の評価 | ● 左 ナ Dx 十 ニ ナ |
|----------|----|--|----|-------------------|-----|--|----|-------------------|-----|-----------|-----------|--|
| | | チェック項目 | はい | どちらと もいえな い | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらと もいえな い | いいえ | わから ない | 保護者の方のご意見 | ── 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員に応じた指導訓練室等スペース の十分な確保 | | 0 | | ・活動内容、利用人数によって 狭いと感じる ・クールダウンスペースの確保 が必要 ・プログラムに合わせて机の配 電景をや相談室の利用などで対 応している | 14 | | | | | |
| | 2 | 職員の適切な配置 | 0 | | | シフト制なのでシフトを上手く組 まないと大変なこともある | 14 | 1 | | 1 | | 適切な配置が守れていることを 保護者様に分かるように工夫す る。 |
| | 3 | 本人にわかりやすい構造、パリアフリー 化、情報伝達等に配慮した環境など障が いの特性に応じた設備整備 | 0 | | | ・音声などがいい具合に遮断される、壁で出来た静養室がない。パーテーションで区切った相談室はある。 ・掲示の見直しが必要な場所がある ・トイレのパリアフリーがない | 14 | 2 | | | | 改めて、ニーズの聞き取りと改善点があれば教室運営に反映 させていく。 |
| | 4 | 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動 に合わせた生活空間の確保 | | 0 | | 利用人数によっては狭く感じる。 | 15 | | | 1 | | |
| 業務改善 | 1 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)への職員の積極的 な参画 | 0 | | | | | | | | | |
| | 2 | 第三者による外部評価を活用した業務改 善の実施 | 0 | | | 誰が評価し、どのように反省させ ているかが分かりにくい | / | | | | | |
| | 3 | 職員の資質の向上を行うための研修機会 の確保 | 0 | | | | | | | | | |
| 適切 | 1 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 での児童発達支援計画又は放課後等デ イサービス計画の作成 | 0 | | | | 16 | | | | | |
| が女援の提供 | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 0 | | | | 16 | | | | | |
| | 3 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせた児童発達支援 又は放課後等デイサービス計画の作成 | 0 | | | | / | | | | | |
| | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイ サービス計画に沿った適切な支援の実施 | 0 | | | | 15 | 1 | | | | |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 0 | | | | / | | | | | |
| | 6 | 活動プログラムが固定化しないようなエ 夫の実施 | 0 | | | カレンダーの内容は生徒さんか らのニーズや課題に沿って随時 話しあいを行っている。 | 15 | 1 | | | | |
| 適切な支援 | 7 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細や かな支援 | 0 | | | ・支援はプログラム内容や生徒 さんに合わせているため、平日 と休日に分けて出来ているかは 分からない。 | | | | | | |
| 援の提供(続き) | 8 | 支援開始前における職員間でその日の 支援内容や役割分担についての確認の 徹底 | 0 | | | | / | | | | | |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行 われた支援の振り返りと気付いた点など の情報の共有化 | 0 | | | | | | | | | |
| | 10 | 日々の支援に関しての正確な記録の徹 底や、支援の検証・改善の継続実施 | 0 | | | | | | | | | |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス 計画の見直し | 0 | | | | | | | | | |

| 区分 | | | | | 事業所の現状評価 | | | | | | 護者の方の評価 | 評価を踏まえた |
|-------------|----|---|----|-------------------|----------|---|----|-------------------|-----|-----------|--|---|
| 区 | 分 | チェック項目 | はい | どちらと もいえな い | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらと もいえな い | いいえ | わから ない | 保護者の方のご意見 | 改善内容•改善目標 |
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい 者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 | 0 | | | | / | / | / | / | | |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | | | 該当なし | | \int | | | | |
| 関係機関との連携(続き | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身 障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡 体制の整備 | | | | 該当なし | | | | | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所及び放課後等デイ サービス事業所からの円滑な移行支援の ため、保育所や認定こども園、幼稚園、小 学校、特別支援学校(小学部)等との間で の支援内容等の十分な情報共有 | 0 | | | アセスメント時の聞き取りで、保 護者様とのやり取りで引き継い でいる。必要に応じ園との情報 共有等検討していく。 | | | / | / | | |
| | 5 | 他の障害福祉サービス事業所等への円 滑な移行支援のため、それまでの支援内 容等についての十分な情報提供 | 0 | | | | | | / | | | |
| | 6 | 機関での研修の受講の促進 | 0 | | | | | | / | | | |
|) | 7 | 児童発達支援の場合の保育所や認定こ ども園、幼稚園等との交流や、放課後等 デイサービスの場合の放課後児童クラブ や児童館との交流など、障がいのない子 どもと活動する機会の提供 | 0 | | | ・地域のイベントへの参加や児 童館でのイベントを行っているが 機会が少ない。 ・eスポを通じた交流を計画&実 施した。 | 3 | 4 | 1 | 8 | あまり聞いたことが無いです | 地域との交流が利用者様の 体感としてもわかりやすい周 知やご案内を実施していく。 |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など 地域に開かれた事業の運営 | | 0 | | 招待することは難しいが、地域 の方との交流についてはできる 方法を検討していく。 | / | | | | | |
| 保護者への | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁 率な説明 | 0 | | | | 12 | 2 | | 2 | | 契約時に説明を行っているも のの、分かりやすさについて は再度丁寧に行えているか 振り返り対応していく。 |
| 説明責任・ | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイ サービス計画を示しながらの支援内容の 丁寧な説明 | 0 | | | | 16 | | | | | |
| 連携支援 | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対するペアレント・トレーニング 等の支援の実施 | | 0 | | 助言を行うが、ペアトレントトレー ニングの形になっているかは不 明。 | 8 | 5 | 1 | 2 | | ペアレントトレーニングの実践 や研修会の実施など、多くの 参加者に呼びかけ実施を検 討していく。 |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日 頃から保護者との共通理解の徹底 | 0 | | | | 14 | 2 | | | ・送迎のタイミングで出来てい る時と出来ていない時がある | |
| 保護 | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 0 | | | | 15 | 1 | | | | |
| 者への説明 | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の 開催による保護者同士の連携支援 | | 0 | | 父母の会等とのつながりがあまりない。参観日等は開催している。年に1回程度、企画できれば保護者様が集まる回を検討している。 | 3 | 3 | 3 | 7 | ・ないが特に必要性を感じない い ・今はないけど、いつかそうい う時間があればいいと思う。 | 交流会の頻度が少ないこと と、親子プログラムへの参加 率が高くないことを踏まえ、再 度実施の検討と周知を進め ていく。 |
| 責任・連携 | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応 体制整備や、子どもや保護者に周知及び 苦情があった場合の迅速かつ適切な対 応 | 0 | | | | 10 | 1 | | 5 | ・苦情の話や苦情を入れたこ とが無いため | 苦情をいただく機会があまり ないが、いただく場合には適 切に対応していく。 |
| 支援(続き | 8 | 障がいのある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮 | 0 | | | | 14 | 1 | | 1 | | |
|) | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 0 | | | | 16 | | | | | |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 0 | | | | 16 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルの策定と、職員や 保護者への周知徹底 | 0 | | | | 13 | | | 3 | | マニュアルの周知徹底につい ては全体に向けてより分かり やすい周知の方法を模索し ていく。 |
| | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避 難、救出その他必要な訓練の実施 | 0 | | | | 12 | 1 | | 3 | | 避難経路や防災訓練は設定 し訓練しているので、常に安 全に備えていく。 |